

市民・コミュニティ組織の参加による環境にやさしいくらしの促進

地球温暖化問題は、日常生活の様々な活動に関わりがあることから、市民は生活のあらゆる場面で温室効果ガスの排出抑制に心がけることが求められます。特に、家庭生活からの二酸化炭素の排出は、電気・自動車・給湯器・冷暖房機器の使用などが主な原因であり、この削減対策には、節電対策など省エネルギー行動を実践すること、家電製品や自動車の買い換えの際に省エネルギー・高効率の製品を選択し省エネルギー型の生活環境を整えることが求められます。

また、良好な資源循環と環境にやさしい社会への誘導が期待されるグリーン購入や廃棄物の分別、二酸化炭素の吸収効果がある緑化の推進などの取り組みも期待されます。

さらに、環境家計簿等を活用し、自らの温室効果ガス排出状況の記録を通して、取り組みを着実に進めていくことが効果的と考えられます。これらを促進していくためには、次のようなことを意識して生活することが求められます。

こまめな行動で、エネルギーを節約しましょう

①省エネルギー行動に係わる対策事例

(冷暖房の節約)

- ・ 冷房温度は28℃、暖房温度は20℃以下に設定する

(節電)

- ・ 家族が同じ部屋で団らんし、冷暖房や照明の利用を減らす
- ・ コンセントを抜いたり、主電源を切るなどにより、待機電力を減らす
- ・ 電気ポットやジャーでの長時間の保温を止める
- ・ 必要な番組を厳選し、テレビの視聴時間を短くする

(水道の利用)

- ・ 洗面所の節水、風呂の残り湯を利用する

(車の利用・エコドライブ)

- ・ アイドリングストップを励行する
- ・ 空ぶかし、急発進、急加速をしない
- ・ 不要な荷物を載せない
- ・ 計画的に車を利用する
- ・ 定期的に点検整備を行う
- ・ 公共交通機関や自転車、徒歩の利用に努める

(グリーン購入・廃棄物の削減)

- ・ 環境にやさしい商品を率先して選択する
- ・ 生産でのエネルギー消費の少ない旬の食材を率先して選択する
- ・ 資源循環に配慮した生活用品の使用、廃棄物の減量に努める
- ・ レジ袋等廃棄物の削減やリサイクル、分別排出に努める

家電製品等の買い換えの際には、省エネルギー型製品を選びましょう

②省エネルギー機器等の普及に係わる対策事例

(家電製品の省エネ化)

- ・ 白熱電球を電球形蛍光灯に換える
- ・ 冷蔵庫、エアコン、電子レンジを省エネ型のものに換える
- ・ テレビを液晶型など、省エネ型のものに換える
- ・ 待機時消費電力の少ない商品に換える

(節水に資する機器の導入)

- ・ 食器洗い機、節水シャワーヘッドなどを導入する

(車の省エネ化)

- ・ ハイブリッド車、低燃費な車、低公害車を選ぶ

(給湯設備の省エネ化)

- ・ 高効率給湯器を選ぶ

(トップランナー機器の導入)

- ・ 省エネ法で定められた省エネ基準を満たした機器の積極的な導入に努める

太陽光発電システムや省エネ住宅で環境にやさしく暮らしましょう

③新エネルギー設備等の整備に係わる対策事例

(自然エネルギー利用設備の整備)

- ・ 太陽光発電設備を導入する
- ・ 太陽熱利用システムを導入する

(住宅の高断熱化)

- ・ 冷暖房効率の高い住宅（高断熱住宅）を造る
- ・ 住宅・マンション等の改修にあたっては、高断熱化の推進に努める

森林保全活動に参加したり花や緑を増やしましょう

④森林保全・緑化の推進に係わる対策事例

(森林の育成)

- ・ 森林の育成に向けた市民活動に参加する
- ・ 民有林の適正な管理に努める

(木材製品の利用)

- ・ 間伐材、木材資源製品の利用に努める

(住宅の緑化)

- ・ 住宅の緑化、生け垣整備に努める
- ・ 建物の壁面緑化、屋上緑化に努める

環境家計簿などを活用して、温暖化対策を実践しましょう

⑤計画的・効果的な取り組みの推進、その他の対策に係わる対策事例

(自主管理の促進)

- ・ 生活からの温室効果ガス排出量を環境家計簿活動などにより把握する
- ・ 目標を定めた削減対策を実施する
- ・ 家庭での省エネルギー診断を実施する

(協働活動)

- ・ 市民団体による地球温暖化対策などの活動に参加する

(二酸化炭素以外の温室効果ガス排出削減)

- ・ 代替フロン等を使用した製品の利用を控える
- ・ 代替フロン等を使用した冷蔵庫、エアコンを適正に処分する

環境に配慮した事業活動の促進

事業活動に伴う温室効果ガスの排出は、市域全体の9割ほど（自動車、事業系一般廃棄物を含みます）を占めており、事業者は事業活動の各段階で実効ある温暖化対策を進めることが求められます。

また、商品やサービスを提供する立場であることから、市民等が温暖化対策を進めるために必要な省エネルギー等に資する技術開発や製品の開発に努めることが期待されています。

さらに、環境にやさしい事業活動を目指したグリーン経営に努めるとともに、地域社会等と連携した取り組みへの参加が期待されます。

それぞれの業種別には、次のような取り組みが考えられます。

- 製造業：生産・製造工程において多量のエネルギーを使用しますので、省エネ診断等の手法を活用し、生産施設、建築物等を省エネ型のものに転換することが求められます。
- オフィスやデパートなどの事業所：照明、冷暖房、パソコンなどの事務機器の使用に伴うエネルギー消費が増加しており、これらを順次、省エネルギー型製品に入れ換えることが求められます。
- 運送業などの自動車を利用する事業所：効率的な輸送、エコドライブ、低公害車の導入等に努めることが求められます。

こまめな管理で、エネルギーを節約しましょう

①省エネルギー行動に係わる対策事例

（オフィス等での省エネ）

- ・ 冷房温度は28℃、暖房温度は20℃以下に設定する
- ・ 使用していない部屋の冷暖房や照明をやめる
- ・ 使われていないコピーやパソコンを停止する
- ・ 事務機器の省エネモードを活用する

（生産工程での省エネ）

- ・ 生産工程における不要な動力、熱の使用、水の使用、照明をやめる
- ・ エネルギーの無駄の少ない生産手順、設備制御に努める
- ・ エネルギー消費設備を適切に点検整備し、エネルギー使用効率の向上に努める

（車の利用・エコドライブ）

- ・ アイドリングストップを励行する
- ・ 空ぶかし、急発進、急加速、高速走行をしない（特に大型トラック）
- ・ 不要な荷物を載せない
- ・ 定期的に点検整備を行う

（輸送手段）

- ・ 鉄道や海運など省エネルギーに資する輸送手段を活用する

（廃棄物の削減等）

- ・ 無駄なコピー等廃棄物の削減やリサイクル、分別排出に努める
- ・ 環境にやさしい原材料・商品を率先して選択する

オフィス機器等の買い換えの際には、省エネルギー型製品を

選びましょう

②省エネルギー機器等の普及に係わる対策事例

(オフィス等での省エネ機器への切り換え)

- ・ 省エネ法で定められた省エネ基準を満たしたトップランナー機器の積極的な導入に努める
- ・ 省エネ型のオフィス機器等（高効率な照明・給湯器や待機時消費電力の少ない機器など）を選ぶ

(生産工程での省エネ機器への切り換え)

- ・ 生産設備の設置、更新にあたっては、エネルギー効率の高い設備の導入に努める
- ・ 温室効果ガス排出係数の小さい燃料に転換する
- ・ 省エネルギーに資するインバータ制御の動力に切り換える
- ・ エネルギー効率の高い冷凍機、送風機などの設備に切り換える
- ・ 排熱回収や断熱対策により、温熱・冷熱の保温を高め、熱効率を高める

(車両等の省エネ化)

- ・ ハイブリッド車、低燃費な車、低公害車、クリーンエネルギー自動車を選ぶ
- ・ アイドリングストップ装置搭載車両を導入する
- ・ ETC（有料道路等の料金支払いをノンストップで行うシステム）の利用に努める

コージェネレーションシステムなどで、エネルギーを効率

よく使いましょう

③新エネルギー設備等の整備に係わる対策事例

(自然エネルギー利用施設の整備)

- ・ 太陽光・風力発電設備を導入する
- ・ 太陽熱利用システムを導入する

(高効率・省エネルギー施設等の整備)

- ・ コージェネレーションシステムを導入する
- ・ 燃料電池など新エネルギー設備を導入する
- ・ 冷暖房効率の高い工場、事務所、店舗、マンション等（高断熱建築物）を造る
- ・ 排熱等未利用エネルギーの有効活用に資する施設を整備する

(省エネルギー等に関する新技術の開発)

- ・ エネルギー貯蔵技術、エネルギー転換技術を開発する
- ・ 省エネ型の電子機器、輸送機器等の基盤的技術を開発する
- ・ エネルギー多消費産業等における革新的プロセス・システム技術を開発する
- ・ 省エネルギー等に資する技術開発、製品の提供、情報の提供に努める

森林保全活動への支援や工場等の緑化に努めましょう

④森林保全・緑化の推進に係わる対策事例

(森林の育成)

- ・ 森林保全活動への支援に努める

(木材資源の活用)

- ・ 間伐材、木材資源製品の利用に努める

(工場等の緑化)

- ・ 工場等敷地内の緑化に努める
- ・ 建物の壁面緑化や屋上緑化に努める

自主管理計画などを策定し、地球温暖化に配慮した事業活動に

努めましょう

⑤計画的・効果的な取り組みの推進、その他の対策に係わる対策事例

(自主管理の推進)

- ・ グリーン経営（自主的な温室効果ガス排出削減計画の策定等）に努める
- ・ 経団連の自主行動計画や自主的な地球温暖化防止計画の策定・実施・フォローアップに努める
- ・ ISO14001 やエコアクション21等の環境マネジメントシステムの導入に努める
- ・ 「エネルギー使用の合理化に関する計画」の策定等により、計画的なエネルギー利用削減に努める
- ・ LCA（ライフサイクルアセスメント）、省エネ診断等の手法を活用し、事業活動を省エネルギー型に改善する

(温暖化防止に配慮した運輸対策)

- ・ トラック輸送を効率化する
- ・ 情報通信を活用した交通代替を推進する
- ・ 共同輸配送の促進や積載効率の向上等により物流の合理化を推進する

(協働活動)

- ・ 地域や海外での環境保全活動、森林保全活動など、地球温暖化防止に寄与する社会貢献を推進する

(代替フロン等3ガスの削減対策)

- ・ 代替物質を開発する
- ・ 代替物質を使用した製品等の利用促進に係る情報の提供及び普及啓発をする
- ・ 代替フロン等を使用した冷蔵庫、エアコン、冷凍機等を適正に処分する